

令和5年度 武佐小学校学校評価 (7月実施)

<保護者アンケート>

番号	質問事項	4 3 2 1				R5 7月平均	比較	R4 12月平均	R4 7月平均	回答計
		A	B	C	D					
1	お子さんは、学校での勉強や行事に積極的にとりくんでいる。	38	22	2	0	3.58	-	3.59	3.60	62
2	お子さんは、読み書きや計算など、基礎学力が向上してきている。	26	29	6	1	3.29	-	3.39	3.50	62
3	お子さんは、興味や関心に応じて、読書をしている。	8	26	26	2	2.65	△	2.89	2.93	62
4	お子さんは、家庭でも机に向かい、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	27	26	7	2	3.26	△	3.45	3.47	62
5	お子さんは、挨拶や言葉づかいなど、場に応じた行動が身につけてきている。	13	45	4	0	3.15	-	3.13	3.28	62
6	お子さんは、自分や周りの人のよさを認め合い、仲良く協力している。	26	34	2	0	3.39	-	3.43	3.43	62
7	お子さんは、自分のため、人のために、できることを進んでしようとする。	22	33	6	1	3.23	-	3.36	3.43	62
8	お子さんは、歩くことや外遊びなど、体を動かす取組をしている。	36	21	5	0	3.50	○	3.20	3.57	62
9	お子さんは、食事や睡眠など、よりよい生活をしようと心がけている。	24	27	11	0	3.21	-	3.16	3.36	62
10	お子さんは、自分の将来や目標に向かい、今できる事をごんぱろうとしている。	20	31	11	0	3.15	○	2.96	3.09	62
11	ご家庭で、その日の出来事を話題にして、子どもと話をするようにしている。	36	25	1	0	3.56	○	3.48	3.50	62
12	ご家庭で、学習や生活リズムについて、約束や声かけをするようにしている。	34	22	6	0	3.45	-	3.48	3.52	62
13	ご家庭で、子どものよさに目を向けて、ほめて、認めて、励ましている。	26	33	3	0	3.37	-	3.45	3.41	62
						3.29		3.42	3.39	

<○成果と▲課題>

- 項目8 外遊び・運動への取組・・・コロナを取り巻く環境鵜の変化（感染症法上の分類変更、実際の流行状況等）などもあり、外遊びの機会が増えてきています。
- 項目11 家庭での関わり・・・家庭においても子供と関りを積極的にもち、日常的に良さを認められながら自己肯定感を高めることにつながっている様子がうかがえます。
- ▲項目3・5 読書習慣、挨拶、言葉遣い・・・学校では、学校支援ボランティアや地域学校協働活動推進員の方の協力をいただきながら、教室の読書環境を充実させる取組や読み聞かせなどを行っています。全ての学年・学級で、挨拶や場に応じた言葉遣いなどは日常的に指導しています。また、児童会による挨拶運動なども行っています。

<教員アンケート>

経営の重点	評価項目	A	B	C	D	R5 7月	R4 12月	R4 7月
(1)学級経営の充実	1 保護者面談だけでなく、日常的に保護者と密に連携することで、共に児童を育てていく関係づくりに努めている。	7	5	0	0	3.58	3.50	3.53
	2 より良い人間関係を基盤に、児童が主体的に豊かな集団生活を営むよう、環境を整えている。	8	4	0	0	3.67	3.57	3.60
	3 共感的な児童理解に努め、自己肯定感を育むよう努めている。	8	4	0	0	3.67	3.57	3.60
	4 課題把握、見直し、まとめの時間を位置づけた授業を行っている。	3	9	0	0	3.25	3.50	3.40
(2)学力向上	5 単元の中で、主体的・対話的な活動を位置づけている。	4	7	1	0	3.25	3.43	3.27
	6 45分間でまとまりのある授業を行っている。	4	8	0	0	3.33	3.29	3.33
	7 全校で統一した学習規律や生活のきまりを徹底し、共通理解のもとに指導している。	5	4	2	1	3.08	3.50	3.40
	8 子どもに対する意欲付けを行い、基本的な生活習慣の確立に努めている。	6	5	1	0	3.42	3.36	3.60
	9 家庭学習の習慣化に向けて、家庭と連携して取り組んでいる。	4	8	0	0	3.33	3.43	3.20
	10 マイノリティを活用し、学習内容の定着に向けた指導を継続している。	4	8	0	0	3.33	3.43	3.47
(3)豊かな心の育成	11 校内外で気持ちのよい挨拶を行うよう学級で動きかけるとともに、教師自らが模範となる言動を示している。	9	3	0	0	3.75	3.64	3.80
	12 いじめについて、アンケートや相談、観察等の機会を通して察知するよう努めている。	9	3	0	0	3.75	3.71	3.87
	13 いじめに関する情報は、迅速・正確、かつ組織的に処理している。	10	1	1	0	3.75	3.57	3.67
(4)体力づくりと健康安全	14 道徳の年間指導計画と別業をもとに道徳の時間の充実と併せて、道徳実践力の向上につなげている。	4	7	1	0	3.25	3.57	3.27
	16 全学年で新体力テストを全種目実施し、児童一人一人の体力を客観的に把握し、体力向上の取組を行っている。	5	7	0	0	3.42	3.50	3.53
	17 避難訓練を実施して、災害時の対応について指導を行っている。	11	1	0	0	3.92	3.79	3.87
	18 安全マップの活用や街頭指導、ハトロールを通して、通学路の安全指導を行っている。	6	3	3	0	3.25	3.57	3.60
(5)特別支援教育の充実	19 個別の指導計画、個別の支援計画を作成・共有するなどして、指導体制づくりに活用している。	7	5	0	0	3.58	3.50	3.60
	20 特別な支援が必要な児童の状況を共有し、学年・学校全体で支援している。	7	5	0	0	3.58	3.36	3.40
	21 特別支援学級や連絡指導教室と学年との密接な連携により、児童一人一人の学びを保障し効果的な指導をしている。	6	5	1	0	3.42	3.50	3.47
その他	22 タブレット端末の活用や教材教具の工夫を通して、個別最適な学びを実現するよう努めている。	6	6	0	0	3.50	3.36	3.40
	23 小中連携の意義をとらえ、できることに取組もうとしている。	4	6	2	0	3.17	-	-

<○成果と▲課題>

- 項目2・3 学級経営の充実・・・児童が主体的に豊かな集団生活を営むよう環境を整える、自己肯定感を育むよう努めることで、学習や行事に積極的に取り組む児童の育成につながっています。
- 項目 11～13 豊かな心の育成・・・構内外での挨拶指導の継続といじめについて、早期発見・迅速な対応ができるよう組織的な取組を今後も継続していきます。
- ▲項目 4・5・7・14 学力向上・・・主体的・対話的で深い学びの授業改善の視点を確認し、校内研修で実践できるようにしていきます。日々の授業実践の積み重ねを大切に、学校全体としての取組につなげられるようにします。